

1 柏原市下水道事業経営戦略の策定に当たって

1.1 策定の主旨

本市の公共下水道事業は、昭和 46(1971)年度から雨水整備、昭和 61(1986)年度から汚水整備に着手し、令和元(2019)年度末で下水道普及率は 87.5%となっています。また、公共下水道区域外の汚水処理対策として、平成 25(2013)年度から市町村設置型の公共浄化槽等整備推進事業に着手しています。

今後、老朽化する施設の更新、また耐震化等を進めるために多額の費用が必要となりますが、人口減少等に伴い使用料収益の減少が予測されています。このような厳しい財政状況の中で、将来にわたって下水道事業を安定して継続していくために、「中長期的な経営の基本計画」である「柏原市下水道事業経営戦略」を策定しました。

1.2 経営戦略の位置づけ

本市の経営戦略は、「柏原市総合計画」、「柏原市都市計画マスタープラン」を上位計画とし、その行動計画である「公共下水道事業計画」、「ストックマネジメント計画」に基づく実施計画「公共下水道整備五箇年計画」を推進するため、経営的な視点でこれらの事業計画の実現性を検証するとともに、下水道事業運営における中長期的な経営の基本計画として位置付けています。

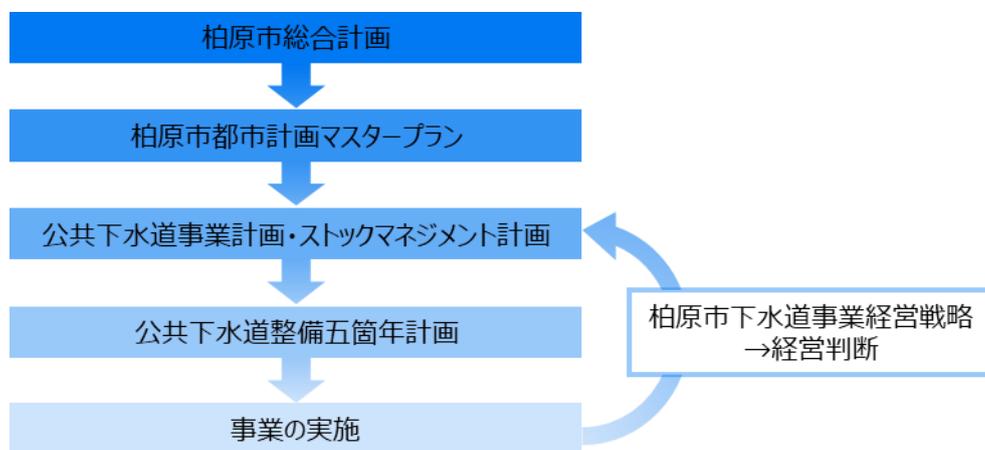


図 1-1 経営戦略位置づけ

1.3 計画期間

経営戦略の計画期間は、令和 3(2021)年度から令和 12(2030)年度までとします。